

気候変動に対応した広食性害虫「ハスモンヨトウ」の殺虫剤 抵抗性管理技術の開発

- 実施期間：令和7～9年度
- 担当部署：病理昆虫部
- 区分：プロジェクト（異常高温を乗り越える農業創出プロジェクト）

○研究内容

近年、広範囲の植物を食害するハスモンヨトウの多発が問題となっており、大きな被害をもたらしています。本種は南方系の害虫のため、県下野外では越冬せず、春先に遠方から飛来し、増殖すると考えられています。また、本種は多くの薬剤に対して抵抗性を獲得することが知られており、県下でも薬剤感受性の動向を注視しています。抵抗性を獲得した個体群が暖冬により県下で越冬増殖すると、防除が困難となる恐れがあります。

本課題では、①本種の県内における越冬の可能性と、各温度域での生息の可能性の検証、②薬剤感受性検定による薬剤感受性の現状把握、③本種の生態変化と薬剤抵抗性個体群の早期発見を通じ、薬剤抵抗性管理技術を開発します。これら成果の活用により、薬剤抵抗性発達を回避した農薬の使用が可能となり、合理的・省力的な防除が可能となります。

